

履き物

履き物を揃えると
心も揃う

心が揃う時は
履き物も揃う

脱ぐ時揃えて置くと
履く時心が乱れない

誰かが乱して置いたら
黙って揃えておいてあげよう
そうすれば きっと 世界中の人の心も
揃うでしょう



＜ 藤本 幸雄 ＞
(長野県円城寺住職)

永平寺の開祖である道元禅師は日々の修行の中に「履き物を揃える」という行為を組み込んでいました。履き物を揃えることは「自分自身を見つめる」「自分の行いを振り返る」ということにつながると考えられたのでしょう。つまり、「履き物が散らかっていると心が乱れている。揃っていれば心が落ち着いている」ということです。

森信三さんは「靴（履き物）を揃える」ことに徹底的にこだわってきました。「靴を脱いだら揃える」は、特に重要で必須項目なのです。世間ではよく知られていることですが、たった3秒で相手が分かるのは、脱いだ靴を揃えているか、いないかです。信じられないかもしれませんが、靴を揃えることに全く意識がない人は、確実に心が乱れていると認識してください。さらに、自分の靴だけではなく、他の人の靴も揃えるような配慮のできる人は、ほぼ完璧な人だとも言えます。ただ、靴のかかとを踏んだまま履いて歩くなどは論外の話と言えます。昔から「靴を揃えると成功する」と言われています。その理由は、一つ一つのことに、まずはケジメをつける習慣が身につくからです。普段、乱れた生活をしていると、何もかもがごちゃ混ぜになってしまいます。靴を揃える習慣が身につくことで、徐々に心も揃っていくので、否が応にも成功へと導いてくれることになるのです。